

新潟焼山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

< 噴火警戒レベル 1（活火山であることに留意）が継続 >

本日（28 日）国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所の協力により上空からの観測を実施しました。山頂火口からの白色噴煙は、火口縁上高さ約 100m まで上がり東に流れていました。火口付近に地熱域¹⁾を確認しています。

地震活動や地殻変動の観測データに特段の変化はみられていません。

新潟焼山では、昨年（2015 年）夏頃から、噴煙がやや高く上がる傾向がみられます。今後の火山活動の推移に注意してください。

噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1～2、図 3 - ）

本日（28 日）国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所の協力により上空からの観測を実施しました。山頂火口からの白色噴煙は、火口縁上高さ約 100m まで上がり東に流れていました。火口付近には地熱域¹⁾を確認しています。

新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラによる観測では、昨年（2015 年）夏頃から、山頂部東側斜面の噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、一時的には火口縁上 200m 程度まで上がっています。また、昨年（2015 年）12 月下旬からは噴煙量も多くなっています。

・ 地震や微動の発生状況（図 3 - ）

火山性地震は少ない状態で経過しています。長期的には 2015 年に入って地震回数がやや増加しています。火山性微動は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図 3 - ~ 、図 4 ）

GNSS²⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

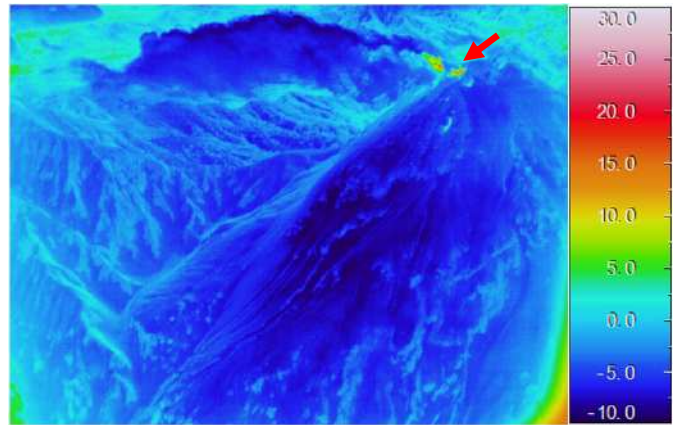
1) 赤外熱映像装置により観測しています。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の温度よりも低く測定される場合があります。

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

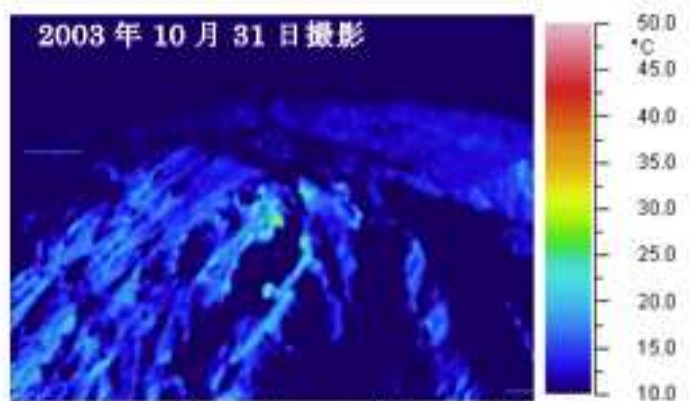
この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



2016年1月28日 11時14分 北側より撮影(左:可視画像、右:熱赤外画像)
国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所の協力により実施



2003年10月31日 北北東側より撮影(左:可視画像、右:熱赤外画像) 赤丸は弱い噴気
新潟県の協力により実施

図1 新潟焼山 赤外熱映像装置による山頂火口付近の地表面温度分布

- ・火口付近に地熱域を確認しています(上図赤矢印)。前回(2003年10月31日)の観測時にはこのような地熱域は認められていませんでした。

新潟県土木部砂防課提供



2015 年 10 月 29 日 09 時 00 分 撮影



2015 年 12 月 31 日 08 時 58 分 撮影



2016 年 1 月 13 日 17 時 00 分 撮影



2016 年 1 月 26 日 12 時 59 分 撮影

図 2 新潟焼山 山頂部の最近の状況
（いずれも新潟県土木部砂防課提供）

- ・昨年（2015 年）12 月下旬から噴煙量が多くなっています（図中黄円）。

東北地方太平洋沖地震

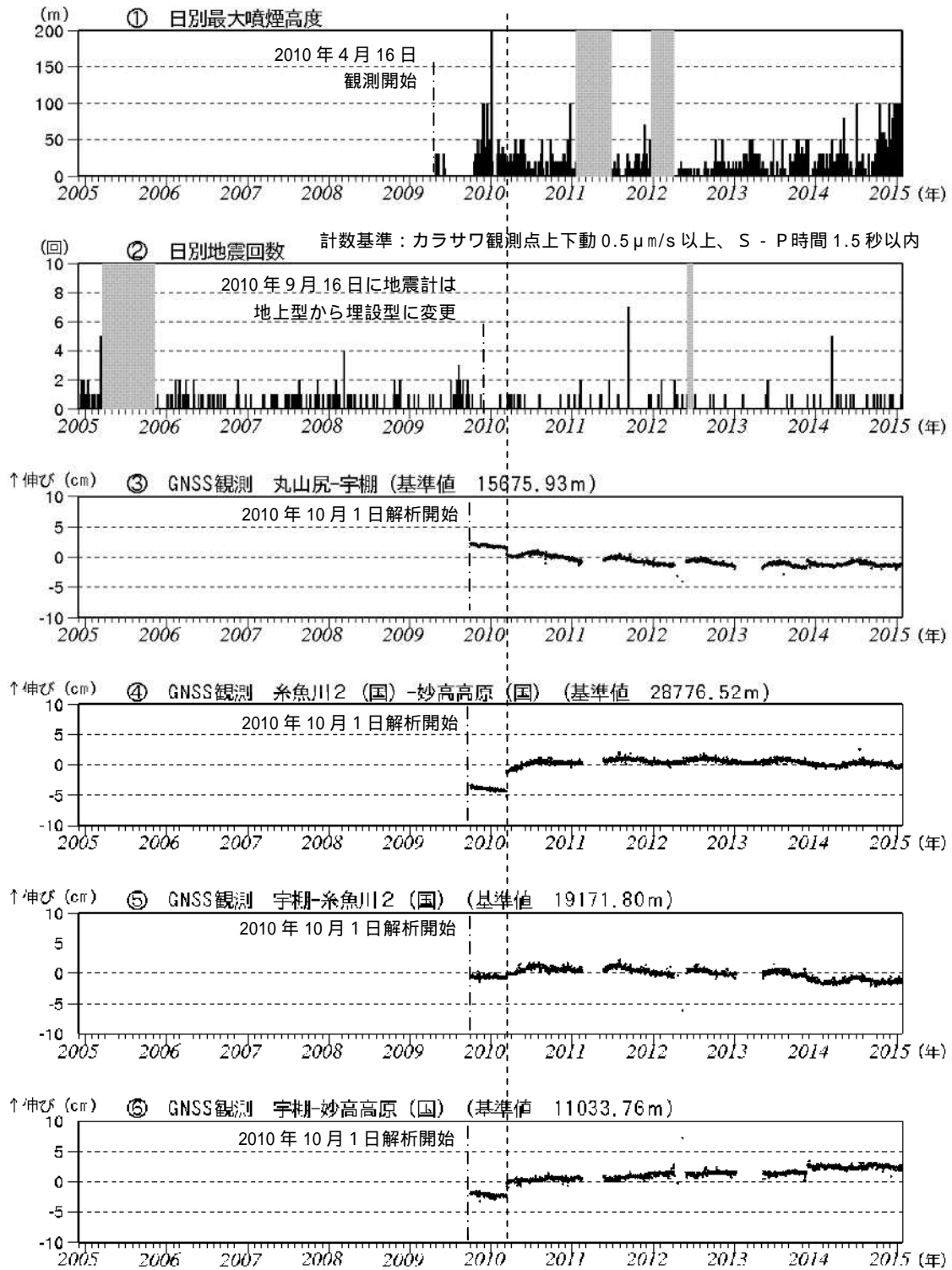


図3 新潟焼山 火山活動経過図(2005年12月1日~2016年1月26日)

- ・ 定時観測(09時・15時)による日別最高の噴気の高さ
- ・ 昨年(2015年)夏頃から噴煙の高さがやや高く上がる傾向がみられます。
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ 日別地震回数
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ ~ : GNSS連続観測結果 (国): 国土地理院
- ・ ~ の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・ ~ は、図4のGNSS基線 ~ に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。

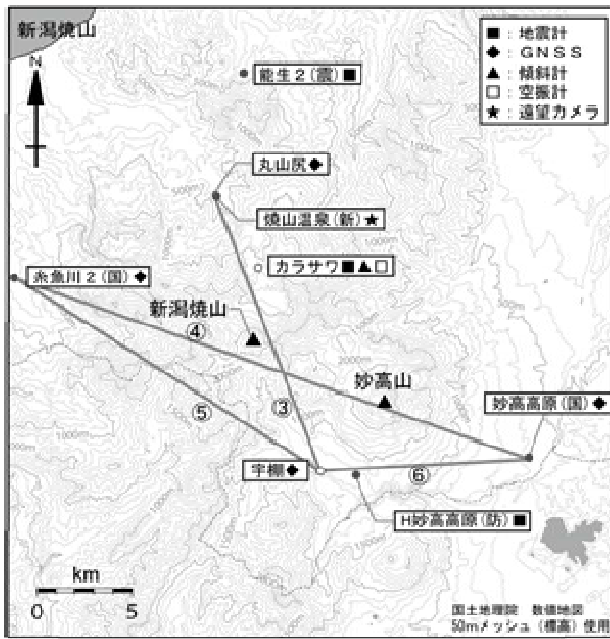


図4 新潟焼山 観測点配置図
(GNSS基線 ~ は図3の ~ に対応しています。)